

(株)三越伊勢丹ホールディングス(国内百貨店事業)売上速報(2021年 1月)



三越伊勢丹ホールディングス

2021年2月1日

国内百貨店事業 売上

(株)三越伊勢丹 店舗	前年比	4月-1月 累計
伊勢丹新宿本店 店頭	71.4%	67.2%
三越日本橋本店 店頭	68.6%	70.5%
三越銀座店	50.1%	48.0%
伊勢丹立川店	64.7%	71.1%
伊勢丹浦和店	71.8%	73.7%

	前年比	4月-1月 累計
(株)三越伊勢丹 計 (①)	66.8%	62.6%
(株)三越伊勢丹 既存店計※ (②)	66.8%	65.4%

※2019年9月末日営業終了した伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績除く

グループ百貨店事業会社	前年比	4月-1月 累計
札幌丸井三越	62.2%	65.8%
函館丸井今井	68.6%	75.7%
仙台三越	76.1%	78.6%
新潟三越伊勢丹	59.8%	71.8%
静岡伊勢丹	74.5%	78.8%
名古屋三越	76.6%	77.7%
広島三越	80.8%	82.9%
高松三越	84.3%	80.4%
松山三越	27.2%	53.2%
岩田屋三越	71.1%	74.5%

	前年比	4月-1月 累計
国内グループ百貨店 計 (③)	69.4%	73.8%
国内グループ百貨店 既存店計※ (④)	72.9%	76.4%

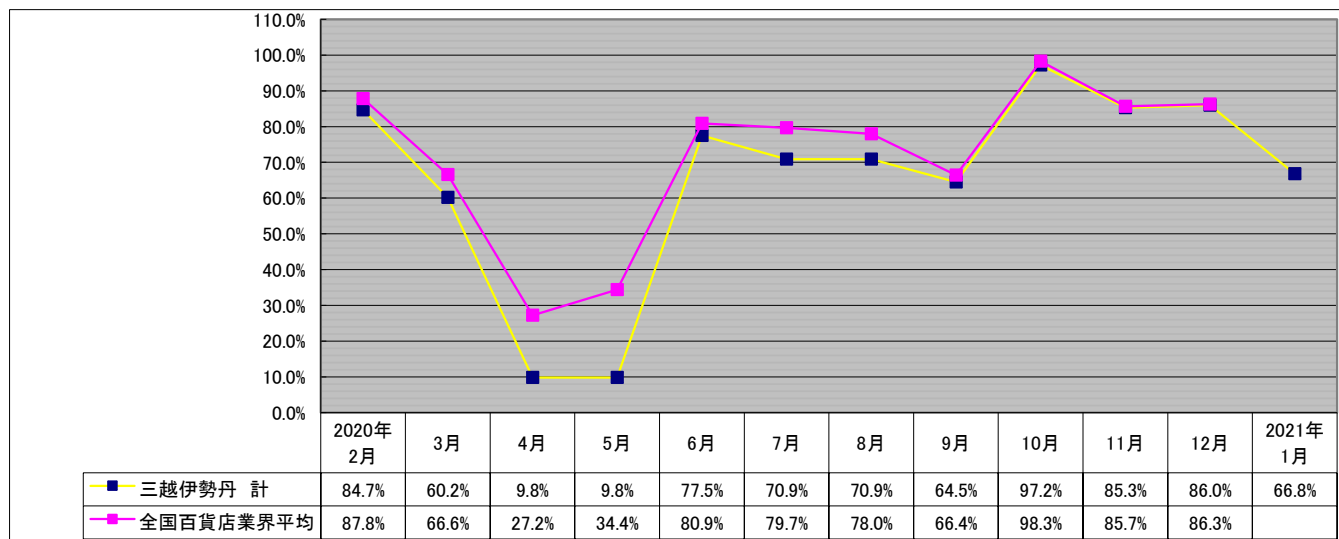
※2020年3月22日営業終了した新潟三越の実績除く

	前年比	4月-1月 累計
国内百貨店 計 (①+③)	67.9%	67.2%
国内百貨店 既存店計※ (②+④)	69.4%	70.0%

※2019年9月末日営業終了した伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績と
2020年3月22日営業終了した新潟三越の実績除く

過去1年間の月別売上高(前年比)推移 [三越伊勢丹・全国百貨店業界平均]

数字は速報値です。三越伊勢丹計は既存店計の実績です。



概況

- 緊急事態宣言が再発出された地域の店舗を中心に、外出自粛要請の高まりや営業時間の短縮によって、入店客数は伸び悩み、国内百貨店(既存店計)の売上は、前年売上を下回る。一方で、ロイヤリティの高い顧客が多い大都市圏の店舗では、客単価が前年を上回る店舗もあった。
- 伊勢丹新宿本店と三越日本橋本店では、買い物の目的が明確な日本人顧客による高付加価値商品への関心が引き続き高く、宝飾・時計や婦人カテゴリーのラグジュアリーブランドのハンドバッグ・靴・財布・アクセサリが好調。オンライン売上は、前年比約2倍と12月よりも伸長率が高く、特に店頭でも人気の高いチョコレートのイベント「サロン・デュ・ショコラ」や「バレンタイン」特集の反響が大きかった。
- 免税売上は、引き続き低調に推移している。